

令和3年6月9日

学校法人三幸学園  
名古屋スイーツアンドカフェ専門学校  
校長 紅谷 尚幹 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 堀 潔

### 学校関係者評価委員会実施報告

令和2年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

#### 記

#### 1 学校関係者評価委員

- ① 堀 潔（CAFÉ&BAR Holy 代表）
- ② 恩田 徳行（株式会社ビルネット 名古屋支店長）
- ③ 小林 未典（飛鳥未来高等学校 名古屋キャンパス キャンパス長代理）

#### 2 学校関係者評価委員会の開催状況

令和3年6月9日（会場 名古屋スイーツアンドカフェ専門学校 301 教室）

#### 3 学校関係者委員会報告

別紙「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

# 令和2年度 学校法人 三幸学園 名古屋スイーツアンドカフェ専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 藤田 高広

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 堀 潔

## 1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、製菓、調理分野の学校として「美味しくてかわいいスイーツとカフェを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、製菓・調理分野として「美味しくてかわいいスイーツとカフェを通じて、時間と空間をトータルプロデュースし、人の心を豊かにする人材(全ては、お客様の笑顔とありがとうのために)を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

## 2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

5年目を迎え、今まで同様に教育理念である「技能と心の調和」に基づき、社会の動向、業界の現状を踏まえ、この4年で培った基盤を軸に、より良い学習内容、充実した学習環境、安定した就職サポートを提供できるよう、以下の点を重視し教育を進めていく。

### ① 前年度重点施策振り返り

#### 1. 教務活動と広報活動を連動し、退学率の低減を確実に進めていく

→前年度に引き続き対策を強化し、3%台の数値を維持

#### 2. 買い手市場における就職対策を図る

→コロナ禍においても充実した就職指導(校内企業説明会、個別指導等)を実施

#### 3. 通信制高等学校を卒業した生徒の受け入れ対応について強化していく

→生徒に合わせた、学び方・クラス運営・指導研修を実施

→全日制の学生と比べると少し志向が違った学生が多い

### ② 学校関係者評価委員会コメント

・コロナ禍での就職活動は、昨年より状況は良くなりつつあるが、離職率が高い職種であるため就職指導の在り方、生徒への動機づけが大切になってくる。(堀委員)

・コロナ禍の成功事例として社内でのオンラインが活性され、現在も継続している。ただ、オンラインでのお客様との交渉は課題がある。(恩田委員)

・通信制高校出身の生徒の退学率対策として、入学後の対策でなく「入学前」に説明会等を実施し、そこで入学までに意識してほしい点等を説明するのもよいのではないか。(小林委員)

### 3.評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

#### ① 課題

- ・例年、創意工夫は行っている。今後も継続的に生徒、保護者に向けて、理念、目標の浸透を高める施策を進めたい
- ・社会情勢は変化し続けるので、業界ニーズに着目し続け、情報収集に努める

#### ② 今後の改善方策

- ・校内掲示での更なる発信は勿論のこと、引き続き当法人専用の e ラーニングシステム（以降 Sanko Gate）でも、都度、教育理念他の周知に活用していきたい。併せて教職員にも理念、特色を常に把握、理解させ、生徒へ質の高い学びを提供出来るよう繋げたい。また、保護者には普段の発信文章、各行事はもとより、2年生の実習科目である「学内店舗実習」を上手く活用し、積極的に当校の特色を理解して頂けるよう、発信を進めていく
- ・業界のニーズを把握するため、訪問・担当者との TEL 等の回数を増やし、強化する
- ・業界のニーズに合った教育を行うための教員研修会を実施

#### ③ 特記事項

- ・以前より教育理念から人材育成をより体系化するべく、三幸学園としてのビジョン、ミッションを設定し、教職員へ浸透を図っている。業界ニーズをより深く理解し、日々の教育へ活かしていくことを目的に、関連企業、地域団体と産官学連携・地域連携し、教育課程の共同編成やシラバスの共同開発を行い、業界の即戦力となる人材育成を積極的に実践している
- ・理念の浸透として、「体験入学」時から教育理念等は伝える機会を設けており、また、入学生保護者には「新入生保護者説明会」、入学者には「スタートアッププログラム」等を利用して理念の浸透を図っている

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・企業理念を外に発信するツールとして Instagram を活用している。同業者では、YouTube を利用して料理の動画をUPする取り組みがある。（堀委員）
- ・よりクオリティの高い技術とサービスを提供し、満足していただくことで企業理念の具現化を図っている。（恩田委員）
- ・様々なSNSを活用して発信しているが全てのSNSがHPへ飛ぶようにリンクを設定している、更に拡散できるように、通常の名刺とは別にSNSのQRコードを掲載した広報用の名刺を作成している。（小林委員）

## (2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

### ① 課題

- ・教職員・連携企業等を今まで以上に巻き込み、益々の学校一体化を進めていく
- ・職業実践専門課程の認定、更に高等教育無償化の認定により、情報公開もより適切化されているが、今後も様々な点において情報公開が求められることを想定し、今以上の学校運営に取り組んでいく
- ・更に良いものにしたいという熱意と教職員数の増加も相まって、コミュニケーションの機会が増加傾向であるため、無意味な打合せ等が頻発することによって、業務効率の悪化を招かないよう意識してシステム化を中心とした改善を進めていく

### ② 今後の改善方策

- ・校務の割当や業務フローを見直し、自動化できる内容に関しては情報化し、無駄な打合せ等を発生させないよう更なる効率化を進める

### ③ 特記事項

- ・H29 年度より出退勤管理(時間外管理を含む)はシステム化されている
- ・H29 年度より給与明細表はペーパーレス化されている
- ・H30 年度途中より経費精算がシステム化されている
- ・R 元年度より食材発注がシステム化されている

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・業務の効率化として、新しいレジシステム導入(タブレット)予定だが、使いこなせるかどうか不安のため、操作方法を知る研修をどうするか検討している。(堀委員)
- ・昨年からの会議は全てペーパーレスにした。保護者に対しては毎月送っていた郵送物も、現在はアプリへのアップに移行した。移行当初は様々な意見が上がっていたが、生徒へ意図や今後の社会で求められるマインドを説明し、現在では生徒自身が情報をキャッチできるようになった。(小林委員)
- ・これまで異動をするたびに、様々な支店でやり方に戸惑った。また、長年同じ支店に勤め、同じ方法で行ってきた本人たちも何故その方法で行っているのかが理解できていない状況が見受けられた。昨年からの着任した支店では、効率的で一番良い方法を考えさせ、実施できている。今後は、より効率的にかつ業務のスリム化を図ろうとしている。(恩田委員)

### (3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

#### ① 課題

- ・更なる教育活動(質)の向上のため、各種研修を充実させる
- ・業界の現状を把握し、より学習効果の高い連携、取組みを実施していく
- ・更なる有能な教職員の確保(採用強化)

#### ② 今後の改善方策

- ・カリキュラムの見直しや、シラバスの改善を業界の意見を踏まえ、常に取り入れていく
- ・教員及び教育の質の向上を目的とした研修、講習会の機会を増やしていく
- ・有能な卒業生も多数輩出しているので、卒業生採用やそのつながりを活かす採用にも注力していく

#### ③ 特記事項

- ・R3年度より、単位制への移行に伴い、カリキュラムを変更

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・仕事の質向上の取り組みとして、分野による垣根(ホテル事業と寮事業)が大きかったが、業種・分野を超えて様々な面で関わりを持ち、お互いが高め合える取り組みをしている。各業務担当もメインとサブを兼務することで総合的な技術力を高める取り組みをしている。(恩田委員)
- ・人材育成として社員へ飲食業務に関する外部研修を告知し、飲食業界の視野を広げさせるようにしている。人材確保は、教育機関での関りから、多くの卒業生が来てくれるため安定して人材確保ができています。(堀委員)
- ・通信制高校のため、生徒は年中増員をしている。適正な職員採用のため、適宜職員募集をかけている。(小林委員)
- ・人材育成のため、OJT機能を強化した。メンバー同士が人材育成の観点を持てるようになり、担任力や生徒への初期対応がきる教員育成に注力している。(小林委員)

#### (4)学修成果

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格(免許)取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

#### ① 課題

- ・より良い就職支援の確立(希望度や定着率の高い企業他)
- ・資格試験合格率の更なる向上
- ・更なる退学率減少(目標数値 3.0%以内)

#### ② 今後の改善方策

- ・学内での会社説明会(オンライン含む)開催数を増やし、生徒の就職支援を充実させる。
- ・資格取得の動機付けを重点的に実施し、上級試験、再受験を含め、チャレンジ意欲も醸成させる
- ・授業内の資格取得対策を強化するとともに、課外の受験対策講座も更に充実させる
- ・退学者に対する分析、対応策をシステム化する
- ・個別状態把握の為に QU アンケート(QUESTIONNAIRE-UTILITIES)『楽しい学校生活を送るためのアンケート』を活用したクラス運営をする。
- ・卒業生支援として校友会を中心とした活動を積極的かつ戦略的に支援することで全体的な把握に努める
- ・精皆勤の状況を中心にクラス状況報告を月に一度実施し、退学防止報告書を退学予兆の時点にて作成し、今後の傾向や対策に活用する

#### ③ 特記事項

- ・令和2年度退学率 3.3%(令和元年度退学率 3.4%)
- ・令和2年度就職内定率 88.2%(令和元年度就職内定率 95.4%)
- ・SANKO リンク(卒業生ネットワークサイト)は設置済み

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・昨年は、進路決定に課題が残る(コロナ禍の影響も若干あり)結果になった。就職難の年でもあったため、就職から進学に変更していることで、これまで合格していた進学先でも厳しい状況だった。今後は、昨年度の課題を改善し、進学をより促し、定着させる取り組みをしていく。(小林委員)
- ・「資格」があると、生徒自身の目標となり、退学率低減に繋がるのではないか。目的を持たせるような指導、取り組みを継続していくことが効果的と思う。(堀委員)
- ・会社としての目標を達成するために、協力会社様との関係強化に注力して取り組んできた。昨年度は、より良い協力関係を構築する取り組みが出来始めた年だった。(恩田委員)

#### (5) 学生支援

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

#### ① 課題

- ・コロナ禍における、製菓、調理業界への就職支援の充実
- ・卒業生への支援拡大(「独立開業支援」等の利用促進を活発化したい)
- ・システム化した中途退学者への支援体制づくり

#### ② 今後の改善方策

- ・学内での会社説明会(オンライン含む)開催数を増やし、生徒の就職支援を充実させる
- ・今までの取組みに追加して、卒業生と教職員のつながりも有効利用し、卒後教育の準備を進める
- ・中途退学者への進路アプローチを実施する

#### ③ 特記事項

- ・複数名の教員による就職支援システムを構築(ふるさとサポート制度あり)
- ・経済的な支援として、特待生制度、学費応援制度等あり
- ・卒後は独立開業支援制度もあり、卒後教育として「製菓衛生師」のセミナー制度も予定している



#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・今年からビジネス専攻がスタートしているため、今後の発展のためにも独立開業支援制度に関しては、大々的に概要を発信した方が良い。(堀委員)
- ・入学者の中でも不登校だった生徒が多いため、そういった学生に対してまずは学校へ登校するための取り組みを行い、ハローワーク等とも連携し就職支援にもつなげている。軽度の障害を持った生徒への支援をしてくれる取引先様もある。(小林委員)

#### (6)教育環境

【評価項目】(評価=適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1)	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

#### ① 課題

- ・生徒増員に伴い、更なる学習環境の整備、備品の充実に注力していく
- ・基本的な防災体制は整っているが、より実践的な訓練や備えが必要と思われる

#### ② 今後の改善方策

- ・教職員から環境向上のため、必要物品を充実させていく
- ・実習室の増設
- ・業界の現状に対応した職業教育を行うべく、教育ツールを企業と連携し開発、整備する
- ・より安全を追求し、防災整備、防災訓練を実施する

#### ③ 特記事項

- ・更なる充実に図るため、毎年、産学連携、インターンシップの新規開拓、内容改善を行っている
- ・例年通り、一定量の備蓄を整備している

#### ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし



## (7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

### ① 課題

- ・教務活動と広報活動の連動を意識した募集を行う
- ・本校の教育理念や特徴を理解した志の高い新入生の確保
- ・引き続き定員充足による募集停止時の対応

### ② 今後の改善方策

- ・在校生等からのリアルな話等を織り交ぜ、今以上に実情に合わせた募集活動を行う
- ・将来像(夢、目標等)をイメージさせ、現実とのギャップを生まない募集活動を行う
- ・SNSを活用した生徒募集の活性化

### ③ 特記事項

- ・学納金及び、奨学金制度等の決定に際しては、社会情勢を踏まえた上で決定している
- ・一般社団法人愛知県専修学校・各種学校連合会が定めた内容を遵守している

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

### ① 課題

#### 【中長期計画】

なし

#### 【予算・収支計画】

なし

#### 【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

現在、第2次中期計画(2018年度～2022年度)の対象期間中であるが、当該計画を着実に実行すると共に今後は当該計画の公開に向けて着手していく予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9) 法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・個人情報の取り扱いやコンプライアンスの遵守を徹底して継続していく

② 今後の改善方策

・会議や研修、掲示物等を通じて、全ての教職員に法令遵守に対する啓蒙を継続的に図る

③ 特記事項

・H28年度自己評価結果より公開を開始している

・H30年度より「職業実践専門課程」認定校として情報公開を開始している

・R元年度より「高等教育無償化」認定校として情報公開を上記より追加している

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

## (10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2

### ① 課題

- ・社会貢献として一般の方々への公開講座や地域貢献に繋がる取組み（地域活動への参加等）を検討
- ・更なるボランティア活動の奨励、支援の強化（特に福祉施設への活動を強化）

### ② 今後の改善方策

- ・新たなボランティア活動の開拓

### ③ 特記事項

- ・H29 年度より営業許可を取り、学内店舗実習を展開している（1階店舗実習室にて）
- ・H29 年度より児童養護施設支援、高等学校への技術支援等を強化している

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

- ・ボランティア活動として今秋近隣にオープンする「イオン様」との産学連携がメインになってくる。クリスマスイベントには生徒が参加していく予定。昨年実施していた「ペットボトルキャップ回収」はコロナ禍の影響で衛生的に問題があると判断し、実施を断念。（小林委員）

## (11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2
学内で適切な体制が整備されているか	3

### ① 課題

- ・近年同様、今年度も留学生は入学しているが、未だ積極的な募集活動を行えていない現状がある
- ・留学生対象の就職斡旋を高める取組みが必要

### ② 今後の改善方策

- ・留学生増員を想定した支援体制作り
- ・留学生に対する進路斡旋の強化及び情報収集（特定技能資格での日本就労支援）
- ・日本語学校への募集案内を実施
- ・教職員の留学生受け入れにおける研修会への参加

### ③ 特記事項

- ・開校初年度より「留学生学費減免入学」制度を導入している
- ・昨年度より留学生へ「AO 特待生入学」制度、日本語学校へ「指定校推薦入学制度」を導入している
- ・姉妹校で特定技能資格の実績あり
- ・法人内において、SANKO 留学生サポートセンターの設置

### ④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

## 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・委員会開催当初から参加しているが、年々良い方向に進んでいると感じている。生徒の学習意欲の向上、技術の向上、先生方の対応力の向上、退学率の減少など結果が出ている。今後も良い方向に進むことを願っている。(堀委員)

### 【今後に向けて】

- ・教務活動と広報活動を連動し、退学率の低減を確実に進めていく
- ・引継ぎ、買い手市場における就職対策(動機付け、積極的な会社説明会誘致、受験対策他)を図る
- ・生徒配布資料や職員会議等でのペーパーレス化を図り、更なる業務効率向上へ繋げる
- ・AED、消防、著作権他研修を実施し、安心、安定した学校運営に努める